

せつめい文

つぎの文しようを読んで もんだいに
こた
答えましょう。

なぜ「オオアリクイ」という名前
なのですか。

オオアリクイは、メキシコから 南アメ
リカ大りくに かけての 草原や 森に
すんで いる。 その 名前の とおり、
アリを 食べて 生きて いる。

前足には するどい 二本の つめが
あって、これで、小山のよう に つくられ
た アリの 巣に あなを あける。

ふだんは、つめを かくすように 指を
内がわに 丸めて、歩く。ちょっと おか
しな 歩き方だ。歩くには、大きな つめ
は じやまに なるし、つめを きずけな
い ためでも ある。

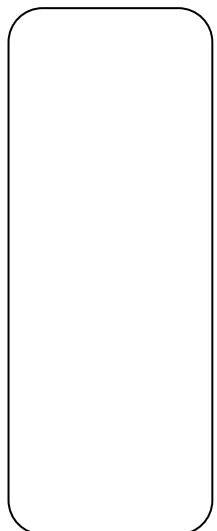
ただし、オオアリクイは、あまり 歩か
ない。一日の うちの 半分以上、ねむっ
て いる。

体温も 地上の ほにゅう動物の 中で
は かなり ひくく、三十三度くらいだ。
つまり、省エネルギーで くらしている
動物と いえる。

起きて いる 時は、においで さがし
た アリの 巣を じゅんに 回って、ア
リを 食べる。

(山本 省三「アリクイの口のなぞが、ついにとけた！」)

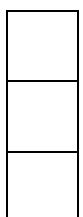
1 「オオアリクイ」は どのように歩
きますか



2 「オオアリクイ」は どのように歩
きますか



3 「オオアリクイ」は 何を 手がか
りに アリの すを さがしますか。



4 「オオアリクイ」の せつ明として
正しい ものを つぎから 二つ
えらび、記ごうで 答えましょう。

イ 草原や 森に すんで いる。
イ するどい つめで てきと た
たかう。

ウ 一日中、アリを さがして いる。
エ 体温は 三十三度 くらいしか
ない。